

# 市議団ニュース

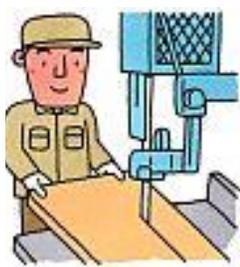
## 駅利用者等の安全安心確保のため 駅有人化を求める意見書 可決

（日本共産党久喜市議団より提案）

東鷲宮駅と栗橋駅では2016年3月から改札窓口係員の人員体制が変更され、始発電車から6時30分頃まで、業務につく職員がいない無人駅になっています。議員団では安全・安心の観点から、鉄道駅等旅客施設には有人化、すなわち駅係員等を置くことを求める意見書を提出し全会一致で可決されました。

意見書では、遠隔制御・監視システムではホームでの転落事故等、不測の事態への対応も十分とは言えないことや、いわゆるバリアフリー新法では「障害者が円滑に利用できるような施設の構造及び設備の整備等の計画的推進に努めなければならない」としている。今回のような駅の無人化はこれら法律の趣旨・精神にも反すると指摘し対策を求めています。

本条例は全会一致で可決されました。これまで木村奉憲議員をはじめ多くの議員が制定を求めて来た経緯があります。賛成討論では、小規模企業振興基本法で示されている「成長発展」だけではなく、「事業の持続的発展」の重要性を明確にし、国、地方自治体に施策の策定と関係団体との連携を責務とすること。個人事業主、従業員5人以下の「小企業者」などを「地域経済の主役」と位置づけ、市民や事業者の声、社会や経済の全体的な動きなどを踏



まえながら、施策の充実や条例理念の実現を図っていくことを求めました。また、このような施策を具体化するためには、職員の意識改革も必要と指摘し、中小・小規模企業を地域ぐるみで応援し、励ます本条例の目的達成のために、行政が先頭に立って取り組むことを求めました。

# 久喜市中小企業・小規模企業振興 基本条例検討委員会条例設置へ！

## 久喜駅西口にミスト システム設置される



市長の合図でスイッチオン！

久喜駅（西口）での式典の様子。デッキの下にパイプが設置されており、ミスト噴出口は5箇所。

平成28年7月17日JR久喜駅西口にてミストシステムの稼働式が行われました。日本共産党は各小学校の昇降口等に設置をし、子どもたちの暑さ対策、熱中症対応をすべきと要望してきました。小・中学校には今年6月からエアコンが導入されています。これも市民や子ども達からの切実な要求でした。

今回のミストシステムは、気温30度以上、湿度70%以下の時に自動で運転されます。暑さの厳しい中、市民のみなさんが森林浴のような爽快感を体験できればと思います。

## 「給付型奨学金制度の創設を求める意見書」可決される

（市民、公明、共産の議員による共同提案）

意見書は「奨学金の利用者は大学生の2.9の人に1人。年利3%の有利子奨学金が約4分の3を占め、返済には無利子の返済で14年間、有利子の返済は20年間かかる。返済が滞ると10%の延滞金がかかり、卒業後の人生に大きな支障をきたすことを指摘し、奨学金制度の拡充が求められている」としています。

日本共産党は賛成討論にたち、平均で300万円、多い場合1000万円近い借金を背負い、社会人としてスタートする。非正規雇用の増大で3人に1人が年収300万円以下で働いており、若者の夢と希望をあと押しすべき奨学金が、若者の人生を狂わせるなど目的とは正反対の事態さえ生まれていることなど指摘し、1日も早い制度創設を求め賛成しました。意見書に対する採決では18人が賛成、7人が反対、賛成多数で可決されました。

## 「済生会栗橋病院あり方 検討委員会」を立ち上げ

済生会栗橋病院は、7月1日「済生会栗橋病院あり方検討委員会」（以下あり方）を立ち上げ、久喜市に参加を要請。久喜市は「あり方」が「移転ありき」で検討する会議ではないことを確認し委嘱を受けています。

設置目的として地域住民に対して今後、安定した医療の提供の継続と医療機能の強化を目指し、老朽化が進む病院施設のあり方の検討を行う。

所掌事務として①病院の機能、規模、施設整備など基本的な方針を検討する。構成委員には、久喜市、加須市、医師会など10名で構成。期間は平成29年3月31日までとしています。「あり方」の傍聴も可としています。



石田としはる

**栗橋「しずか館」統廃合に伴う利用は**

問 栗橋しずか館は1975年建築、栗橋公民館は1964年に建築で統廃合される計画。しずか館グラウンドは統廃合されても利用は可能。利用者数はどれぐらいか。高齢者などの活動機会を奪ってはならない。継続利用できるようにすべき。

答 2015年度しずか館の利用は、会議室4,921人、体育館9,687人、運動場20,581人。栗橋公民館は会議室等が31,920人、体育館が17,014人、運動広場が7,720人。廃止時期までは現行どおり利用していただき、統合後は跡地利用を検討する中で調整する。

問 統廃合の計画案とその目処は。

答 公民館A棟を残す案は4億8千万円。新築だと6億円と試算。日程などは決まっておらず総合的に判断していく。

**机などの備品、収納器具整備充実を**

問 栗橋コミュニティ施設で利用後椅子やテーブルの後片づけを実施する。椅子は収納用器具に積み上げ整理するが、椅子や机の数が多く高齢者など危険で改善が求められる。

答 収納の形を写真で示し、2段での収納もできることなど工夫していきたい。



平間ますみ

**参議院選挙の準備を万全に**

問 投票所に候補者名を見やすくするための補助工具、拡大鏡等の設置が必要だが。

答 比例代表選出議員選挙の全ての投票記載所拡大鏡を設置する。

問 初めての18歳選挙に向け、選挙管理委員会としてどのような取り組みを行ったか。

答 若い人も投票しやすい環境ということで、モージュ菖蒲、クッキープラザに期日前投票所を設ける。また、市内5つの県立高校と模擬投票を含めた出前講座や選挙啓発の参加について協議をしている。更に3つの駅での街頭啓発に全ての高校から参加していただく。

答 18歳・19歳の人に新しい選挙人であることが知られていないとの報道もあるが。

問 ホームページ、ツイッター、フェイスブック、広報くきなどで周知を行ってきた。周知は十分に図れるものと考えている。

**その他の質問**

★資源リサイクル日の変更周知を徹底すべき

★用水路で出た高い汚染値の水質調査結果について

**全議員、市政に提案しました (6月議会・その2)**



杉野おさむ

**1 教職員の長時間、過密労働の解消を求める**

問 いま全国的に教職員の長時間で過密な実態が問題となっており、処遇改善が迫られている。久喜市の勤務実態を伺う。まずは、勤務時間を越えた時間は。

答 2015年では、小学校が月・52.2時間。中学校が月・62.4時間であった。

問 その原因については、どう考えているか。

答 その時間で教材研究や、事業準備、成績の処理、保護者への対応を行っていた。

問 中学の部活動に要した時間はどうであったか。

答 久喜市立中学校での週休日に部活動に要した勤務時間外労働は、月平均で34時間であった。

久喜市でも、平時も週休日も「残業」が固定化しており、教職員が本来行うべき「教科指導」や「生徒指導」にまで影響が及んでいる。答弁では、県も含めて教職員の人数を増員していくことが解決には必要だとした。国も中学の部活動に「休養日」を設けるための指針作りに入った。現場からの声にやっと立ち上がろうとしているが、その前に、久喜市単独で増員することも含め、改善を進める必要がある。

**2 東京理科大学の跡地を利用して粗大ごみなどのリサイクル施設の設置を求めました。**

現在、まだ使える家具なども破砕して、焼却しています。



渡辺まさよ

**1 認知症の方の支援を拡充すべき**

問 認知症の支援対策として、徘徊者探索システムの拡充や徘徊模擬訓練などの要求をしてきた。そのような中、今年8月に社会福祉協議会で徘徊模擬訓練を計画しているようである。どのようにバックアップするのか。本来は主体となるべきでは。

答 今回社協においてモデル地区を選定し、徘徊模擬訓練を実施予定と聞いている。職員の参加など協力し連携していく。効果の検証もしたい。

**2 久喜市の避難所の現状と充実**

問 指定緊急避難所・指定避難所・福祉避難所・一時避難場所の指定総数と市人口に対する割合は。

答 指定総数は121か所、収容可能な人数の割合は、105.2%。

問 清久工業団地周辺地区の企業と避難所としての協力依頼をし、協定を結ぶべきではないか。

答 協定を結ぶことは考えていない。

**3 東京理科大学跡地利用の課題と予定**

問 4割・6割部分の安全対策、地区計画、環境問題、進入路、冠水、住民説明などの予定は、又課題は。

答 地区計画は周辺の住環境に配慮するよう協議しているが、現時点では示せない。